

第3回部会ワークショップ結果の 取りまとめについて

第3回部会の概要

<概要>

日時：令和元年10月24日（木）14：30～17：00

会場：上越観光物産センター 大ホール

WS参加者：32団体55人

部会長：（しごとづくり部会）

上越商工会議所 総務課庶務係長

（結婚・出産・子育て部会）

新潟県立看護大学 副学長

（まちの活性化部会）

上越教育大学 准教授

<部会長コメント>

（しごとづくり部会）

- ・この時間を共有できることが宝物である。
- ・引き続き、上越市まち・ひと・しごと創生推進協議会の活動を通じて横のつながりをどんどん深めてほしい。

（結婚・出産・子育て部会）

- ・普段接点がない人が一堂に会して思いを発信し合うことが、受け手にも伝え手にとっても、上越のことを真剣に考える機会となったのではないか。
- ・住んでいる人たちから色々な言葉が発信されて、それが実現されるようなあり方が、地域としての実りにつながっていく。

（まちの活性化部会）

- ・上越に住みたい、上越で商売したいという人をどうやって増やしていくかということが非常に重要。
- ・3つの部会に分かれているが、まちの活性化がしごとづくりや子育ての環境に非常に密接している。
- ・上越にある本物の地域資源、技術等は何かという認識を固めたうえで事業を展開していくことが重要。

<ワークショップの様子>



<ワークショップ出席者名簿>

グループ	所属団体	役職
A	株式会社大光銀行	地域産業支援部
	株式会社大光銀行	直江津支店長
	株式会社北越銀行高田支店	副支店長
	東京海上日動火災保険上越支社	副主任
	上越地域活性化機構	理事・事務局長
	上越市	産業立地課 副課長
	上越市	上越ものづくり振興センター 所長
B	国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 中央農業研究センター 北陸研究拠点	農業技術コミュニケーター
	株式会社オアシス	副社長
	上越市	農政課 副課長
	上越市	農村振興課 副課長
C	上越公共職業安定所	次長
	新潟県上越地域振興局	企画振興部副部長・労政課長
	上越信用金庫	執行役員 取引先支援部 部長
D	えちご上越農業協同組合	営農部地域ふれあい課 課長
	新潟県上越地域振興局	健康福祉環境部参事・地域保健課長
	上越市	男女共同参画推進センター センター長
	上越市	こども課 副課長
E	上越助産師会	会長
	マミーズ・ネット	理事
	上越市	健康づくり推進課 上席保健師長
F	上越市	保育課 副課長
	公立大学法人新潟県立看護大学	教務学生課長
	上越信用金庫	大学前支店 支店長
	上越市	教育総務課 副課長
	上越市	すこやかなくらし包括支援センター 次長

グループ	所属団体	役職
G	高田本町まちづくり株式会社	取締役
	本町3・4・5丁目商店街振興組合連合会	理事長
	南本町三丁目まちづくり協議会	事務局
	上越市	商業・中心市街地活性化推進室 室長
	上越市	都市整備課 副課長
H,I	新潟県上越地域振興局	企画振興部地域振興課長
	上越信用金庫	営業統括部 部長
	日本政策金融公庫高田支店	支店長兼事業統括
	上越市	学校教育課 副課長
J	上越市	共生まちづくり課 課長
	高田誓女の文化を保存・発信する会	理事長
	街なか映画館再生委員会	
	お馬出しプロジェクト	事務局
	えちごトキめき鉄道株式会社	経営企画主任
	JR東日本鉄道OB会直江津支部	副支部長
K	上越市	交通政策課 係長
	上越市	文化振興課 係長
	上越商工会議所	理事・事務局長
	上越観光コンベンション協会	営業課長
L	上越観光案内協会	
	商工会議所政策委員会(大島G)	事務局
	くびき振興会	理事長
	くびきのお宝のこす会	会長
	上越市	観光交流推進課 副課長
L	上越信用金庫	総合企画部 副部長
	株式会社上越タイムス	常務取締役
	まちづくり市民大学OB会	代表
	上越市	自治・地域振興課 課長

体系番号 (検討G)	具体的施策	目標	どんな取組ができるか	KPIへの反映
A-1-1 (A)	地域産業の競争力強化と地域内経済循環	・ビジネスマッチングや販路ネットワークの取り組みを深掘りしていく。	<ul style="list-style-type: none"> ・販路拡大→商談会、県外・市外のお客様をつなぐ各専門機関の紹介や連携(金融機関が提携している先への取り次ぎ、橋渡し) ※大光銀行と長岡技術大学 ・国外からの観光客にPRしていく→お土産で買っていたものを気に入れば、インターネットでも買い続けてもらえる。 ・酒造→海外展開(上越には15くらい、糸魚川・妙高も入れれば25くらい) ※第一酒造は海外に出たい ・金融機関として連携することで、異業種ネットワークができる。 	-
A-1-2 (A)	新産業の創出とインフラ整備	なし	なし	-
A-1-3 (A)	ものづくりを核とした中小企業の成長促進	なし	なし	-
A-1-4 (B)	農業の競争力強化と担い手確保	<ul style="list-style-type: none"> ・平場はスマート農業が普及している(中山間地域を含め) ・<u>若手後継者がおおむね確保されている</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ・農業者の高齢化が進んできているため、生産する人と販売する人との分業、他分野との連携が必要。 ・若い人は儲かる農業、経営的な支援(経営感覚を身につける取組) ・農業者同士の交流、他分野との交流の場の提供 ・都市住民との交流促進による農業への理解度向上、担い手予備軍 	<ul style="list-style-type: none"> ○若手後継者の確保 【市総計後期基本計画KPIを採用】 →新規就農者数
A-2-1 (C)	若者の定着促進と就労支援	<ul style="list-style-type: none"> ・上越市で企業アワードを実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>技術力のある製造業やIT企業が地元の若い人に伝わっていないのでは</u> ・女性の方の技術系志向も増えている。 ・若い人の創業の芽出し。 ・<u>若い人たちに企業を知ってもらうための企業アワード等見える化。</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ○地元の若い人に企業を知ってもらう 【市総計後期基本計画KPIを採用】 →インターンシップを受け入れている市内企業の割合 →高校新卒者の地元就職割合
A-2-2 (C)	多様な人材が活躍できる職場環境づくりと就労支援	<ul style="list-style-type: none"> ・定着率の高い企業を表彰する。 ・<u>女性の管理職の比率の見える化。</u> 等 表彰する機会をつくる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職場環境づくりのための支援。人事考課や規定整備のための専門家へのつなぎ。 ・職場定着のため労務管理。 ・社員に寄り添った補助金等をつくってゆく。 	-

グループワークのまとめ

体系番号 (検討G)	具体的施策	目標	どんな取組ができるか	KPIへの反映
B-1-1 (C)	ワーク・ライフ・バランスの更なる推進	なし	経営者に理解してもらうための取り組み。第三者を介する。	<ul style="list-style-type: none"> ○経営者に理解してもらうための取り組み 【新規KPIを設定】 →市内企業におけるハッピー・パートナー企業制度の登録企業数 →協議会団体により新たに創出(刷新)されたワークライフバランスの趣旨を踏まえた研修、家族参加型イベントの件数
B-2-1 (D)	自然な出逢いと結婚の希望の実現	・情報の共有化しながら元気な地域づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・地域づくりをすすめる核になるリーダーづくり・人づくり ・地域の中での様々な活動を通して自然な出逢いができるようにする。 ・人と人とのつながりの希薄化⇔強める取組み ⇔多様性 	<ul style="list-style-type: none"> ○自然な出逢いの創出 【新規KPIを設定】 →協議会団体により新たに創出(刷新)された若者参加型の研修、イベントの件数
B-2-2 (E)	妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援	・子育てサービスは多くあるので、サービスを使うことを遠慮しないように <u>周りの人が子育てに理解を示す環境</u> を	<ul style="list-style-type: none"> ・若い世代への結婚、出産等に対する教育が必要(中学生、高校生) ・母親を孤立させないよう支援(助産師会の小グループの集まり、ママーズのこどもセンター) ・パパに育児への理解、サポート意識を高めるように促す。 ・企業、雇用主が子育て中のパパ、ママに理解を示すように。 	<ul style="list-style-type: none"> ○子育てへの理解を醸成し、子育ての負担を軽減 【新規KPIを設定】 →子育てジョイカードの年間発行世帯数
B-2-3 (F)	すこやかな育ちへの支援の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・発達障害の有無に関わらず、子ども達が一人一人輝けるよう<u>早期の支援を継続する。</u> ・今行っている子育て支援や教育支援を継続していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・金融機関を利用されるお客様は様々な年代であり、看護大で取り組む事業の周知啓発は可能(情報発信の工夫) ・町屋の方から来ていただき、店舗で演奏会の鑑賞会をやっており、出前講座とのコラボも可能。 ・発達障害(グレーを含む)を持つ保護者への支援も必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ○子ども達が一人一人輝けるよう早期の支援 【市総計後期基本計画KPIを採用】 →学校が楽しいと感じる児童・生徒の割合
B-2-4 (F)	地域ぐるみの子育ての推進	なし	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のボランティアは不可欠 ・地域の伝統芸能(祭りなど)の伝授などを通じて地域の人々と子どもたちとのコミュニケーションを図っていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域ぐるみの子育て 【新規KPIを設定】 →ファミリーサポートセンターの依頼会員数と提供会員数の比率
B-2-5 (E)	上越の子育て環境の魅力発信	<ul style="list-style-type: none"> ・周りの人、パパ、祖父母等も子育てに関心がもてるような環境を作る。 ・子育て中のママだけでなく、当事者以外の人も情報を得ることができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在でもいろいろな手段で情報発信を行っている。 子育てインフォ、子育てカレンダー、電子母子手帳など 	<ul style="list-style-type: none"> ○子育て情報発信の強化 【新規KPIを設定】 →まち・ひと・しごと創生推進協議会 SNSの子育て環境に関する情報の年間投稿数 →子育て支援に関する取組を行う協議会団体が発信するSNSのフォロワー数 (P)

グループワークのまとめ

体系番号 (検討G)	具体的施策	目標	どんな取組ができるか	KPIへの反映
C-1-1 (G)	中心市街地の都市機能の強化と魅力の向上	・高田公園を中心とした町づくりができるようにする。…案内所開設、イベント作り ・青田川沿いの活用 ・イベントをするにあたって、連携する機関の連絡を密にする。	・オーナーとのマッチングを支援していく。…後継者づくり ○問題点…職人にとっては人を入れるのは難しい。 ○解決…体験の機会を作る。仲を取り持つコーディネーター(地元をよく知る人、外部をよく知る人(商工会議所、市役所))が入る。 ・商売をやりたい、住みたい町づくり(拠点作り、まちかど交流館の活用)…いろいろな機関の協力が必要 ・人間的交流を続けていく。	○住みたいまちづくり 【市総計後期基本計画KPIを採用】 →立地適正化計画の誘導重点区域内における65歳未満の人の区域外への転居数
C-1-2 (H,I)	農山村の暮らしを支える機能の確保と魅力の向上	・体制の強化(行政・金融・他団体)チームによる支援により、いきいきと暮らせる地域へのサポート、外部から入った人への支援を行う。	・公庫:新規就農であれば、融資制度がある。6次化・農家民泊も対象。 ・信金:昨年農家支援の新商品を販売している。アドバイザーが10人いる。ノウハウが不足している。 ・県:プランを作っても、県・市の制度の利用しかなかった。民活が必要。 ・公庫:NPO法人であれば、農業?支援できる(山菜など) ・信金:ソーシャルビジネスについて、ネットワークができています。 ・県:NPO(妙高市)は地域の交流手段の確保が目的。	○生き生き暮らせる地域へのサポート 【市総計後期基本計画KPIを採用】 →地域支えあい事業を運営する住民組織数(累計)
C-1-3 (G)	都市のストックの活用促進	なし	・町家の魅力発信 ・雁木の便利さを伝える。 ・町家に灯りが入るような建て方、都市改革を行う。	○町家の魅力発信 【新規KPIを設定】 →高田区の町家区域における社会減の解消数
C-2-1 (H,I)	まちづくりへの参画とまちへの愛着醸成	なし	(信金、公庫) ・イベントへの職員参加を心掛けている。 ・高校生の地域の祭りやイベント参加が少ない。 ・高校=高田商業の生徒を1回受け入れている→高卒採用していない。(その他) ・糸魚川市がビジネスプランの発表をしている→公庫が後援している。 ・高校生にビジネスプランの作り方の授業を行っている。 ・各団体における取組ができていのか→魅力の発信力 ・高校生の年代では恥ずかしさ、個人主義的な行動から地域イベントへの参加が少ないのではないかと。	-
C-2-2 (H,I)	まちづくり・地域づくり活動への支援体制の強化	なし	なし	-

体系番号 (検討G)	具体的施策	目標	どんな取組ができるか	KPIへの反映
C-3-1 (J)	公共交通の利便性向上と利用促進	<ul style="list-style-type: none"> ・トキめき鉄道はのびしろはたくさんある。活用して集客につとめていく。(二本木駅のスィッチバック、有間川駅の木造・夕日、筒石駅の地下トンネル) ・多種多様なアイデアを子どもや一般から募集する。(外側のラッピングは鮮やかだが、内装も工夫をこらしていくとよい) ・公共交通機関全体で連携していく。(バス、JR、トキめきなど) 	<ul style="list-style-type: none"> ・目的地に行くための乗り物(手段)としても大切であるが、乗ることが目的になる列車が必要になってくる(ex.雪月花) 外部から人を呼ぶことで活性化できる。 ・直江津は、鉄道発祥の地と言われている。もっとアピールしていく必要がある。 ・五智公園にある蒸気機関車(D51)の利用も考えられる。 ・バス利用者に商店街での特典を与えるなどコラボして利用促進を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○公共交通機関の集客強化 【市総計後期基本計画KPIを採用】 →路線バス・乗合タクシー・スクールバス混乗の利用者数 →在来線鉄道の利用者数(ほくほく線、えちごトキめき鉄道)
C-3-2 (J)	地域内の交流促進と魅力発信	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり団体をめぐるツアーを確立し、回遊性のある魅力あるコースに参加し、楽しんでいただく。 ・県内外に加え、海外からの観光客も来ていただけるようにしていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・高田駅周辺は散策していくのに丁度よい距離である。回遊性を深めていくコースやメニューを作成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○情報発信の強化 【新規KPIを設定】 →上越観光Naviの総ページビュー数
C-4-1 (K)	観光コンテンツの充実と稼ぐ観光強化	<ul style="list-style-type: none"> ・市民に知ってもらい、発信していただく。(知恵を出す)※コッペルを知ってもらう。 ・見るだけの観光ではなく、<u>におよような観光</u> ・観光イベントを消化する組織→PRする組織、企画する組織への変化 ・レールパークとトキ鉄等との連携 	<ul style="list-style-type: none"> ・トキ鉄、北越急行、JR、くびき野レールパーク、一緒になった仕組み。(レールパークの車両は市の所有)⇒どこが音頭をとるかが課題。 ・鉄道資産の連携 ・名家4邸公開の連携をふくらませる。 ・観光資源と食べ物の組み合わせ。 	<ul style="list-style-type: none"> ○観光コンテンツの強化 【市総計後期基本計画KPIを採用】 →市内への観光客入込数
C-4-2 (K)	コンベンション誘致による消費拡大	<ul style="list-style-type: none"> ・きめ細やかな情報発信をしていく。 ・施設と宿泊、食との連携した誘致。JTB等、取りまとめ者との連携。誘致したコンベンション後の観光等。 ・毎年同じことをやっていると不十分。 	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>県立武道館、体操場を、コンベンション誘致に活用。スポーツコンベンション。</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ○施設と宿泊、食との連携した誘致。 【市総計後期基本計画KPIを採用】 →100人以上の宿泊を伴うコンベンションの誘致件数 ○スポーツコンベンション 【市総計後期基本計画KPIを採用】 →<u>全国規模のスポーツ大会の誘致件数</u>

体系番号 (検討G)	具体的施策	目標	どんな取組ができるか	KPIへの反映
D-1-1 (L)	UIJターンと定住の促進	<ul style="list-style-type: none"> ・いかに努力するかが大事。(初めての事業でもあるので設定できない。) ・特性を生かした活動で交流人口を増やす。 	<ul style="list-style-type: none"> ・上越の情報を首都圏へ(電子新聞)。上越ネットワークの活用 ・首都圏の情報を上越へ ・移住者向けのホームページ ・移住者のつどい(県外からのすべての方対象) ・空き家のネットワーク作り ・SNS等の情報発信の強化。システム作り。 ・高校2年生向け 地元企業ガイドの発行(27校、2937人対象) ・関係団体機関の連携による子育て支援のしくみの充実(情報発信も含め) ・協働の原点に戻る。 ・子育ての環境は良いが、仕事がない。生活ができる仕事の創設。 ・仕事の価値観がちがう田舎暮らしの良さをアピール。情報発信。 ・市民力の強化。 ・自治力の強化。 	<p>○UIJターンの促進 【市総計後期基本計画KPIを採用】 →市の移住関係制度等を利用した移住者数</p>
D-2-1 (-)	まちの拠点性の強化	-	-	-
D-3-1 (D,L)	若者の人材育成と交流促進	<ul style="list-style-type: none"> ・イベントは、老いも若きも一緒にやる！ 	<ul style="list-style-type: none"> ・上越市全体で若者会議の開催(場づくり) ・各団体事業への参加の促進(若者と長老の交流) ・リーダーの育成へ ・集まれる場の創設(若者の集まれる場作り) ・老人も元気にする事業や場づくり。その背中を見せる。 	<p>○若者の交流促進 【新規KPIを設定】 →市が主催、共催、後援する若者が参加対象の事業の件数(年間)</p> <p>○若者の人材育成 【新規KPIを設定】 →市が共催、後援する若者が参画する事業の件数(年間)</p>
D-3-2 (B)	外部人材の活躍	なし	<ul style="list-style-type: none"> ・工業系の高校、大学との連携による農業用機械、アシストするような機械の開発 ・インターンシップによる農家研修の受入 	<p>○未来技術による課題解決 【新規KPIを設定】 →市と協議会団体が新たに着手した未来技術に関する取組の件数(累計)</p>